

# 不退転

第 123 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 期末テスト始まる!



20(月)から、夏服から冬服への衣替えが完全実施されました。暑い時は、学ランやブレザーを脱いでよいが、上着は夏服のYシャツが条件です。さて、21(火)から期末テストが始まっています

- 21(火)：国語・音楽・美術
- 22(水)：数学・英語・保健体育
- 24(金)：社会・理科・技術家庭



二期期の期末テストは、3年生特に推薦入学志願者にとって、大変重要なテストです。順番通り解くのではなく、まず、問題全体を見渡し、解けそうな問題から取りかかるとコツです。最後まで諦めず、チャレンジしてください。

## おめでとう! やったね!

■第2回数学検定合格者(10月21日(土)実施)  
準2級一次合格 比嘉 稜(3年2組)  
3級合格 安里 匡平(2年2組)  
安富祖楓麻(3年2組)  
西島 伊咲(3年3組)  
3級1次合格 宮城 涉(2年2組)



## 将来の自分と向き合う立志式

大人の仲間入りとなる昔の「元服」の儀式に習っていると、孔子の論語「吾十有五にして學に志す」に由来するとも言われる「立志式」について調べてみました。  
「元服」は、武士社会の風習で、数え年で15歳に祝う行事として行われます。満14歳の立春の日に、これから進む道について「志を立てる」誓いをし、現実に向けて精一杯努力する決意をするなど。将来の決意や目標などを明確にすることで、大人になる為の自覚を深めるものとしています。そう、古くは14歳でもう大人だったのです。まだ将来の事も具体的ではない時期ではありますが、立志式では「贈る言葉」があります。親から子、そして子から親へ。人生はまだこれからで、まだ進路すらもはっきりしていない子たちに励ます言葉を贈ったり、子どもは親へ自分の将来についてや、日頃の感謝などを述べたりする様です。



<https://トレンド豆知識.com/7201.html>



1937年に出版されて以来、数多くの人に読み継がれてきた、吉野源三郎さんの名作「君たちはどう生きるか」。人間としてどう生きればいいのか、楽しく読んでいくうちに自然と考えるようになる書かれた本書は、子供はもちろん多くの大人たちにも共感をもって迎えられるべきでした。勇氣、いじめ、貧困、格差、教養：昔も今も変わらない人生のテーマに真摯に向き合う主人公のコペル君と叔父さん。二人の姿勢には、生き方の指針となる言葉が数多く示されています。そんな時代を超えた名著が、原作の良さをそのままに、マンガの形で、今に蘇りました。初めて読む人はもちろん、何度か読んだことのある人も、一度手にとって、人生を見つめ直すきっかけにしてほしい一冊です。  
(AMAZONの紹介文より)  
所々で「おじさんのノート」が掲載されていますが、内容がやや難しいので、最初は読み飛ばして漫画だけを読んでも、読み応えのある本です。ぜひ、一読することをお勧めします。